

美の国カレッジ開講!

美の国カレッジ総合開講式 開講記念講演

5月21日(土)

於：秋田県生涯学習センター



「秋田県民歌」を斉唱する受証者と参加者



開講記念講演

5月21日(土)、平成23年度美の国カレッジの総合開講式と開講記念講演が開催されました。

総合開講式では、はじめに7名の方に奨励証を授与しました。記念講演は、元秋田県教育委員会教育長の小野寺清氏をお招きし『教育に王道なし ~ 学力日本

一から見える、あきたの学び、地域の力~』というテーマで講演していただきました。

先生は、「平均点が同じ50点でも、中位者が多い50点と、二極化した中での50点では意味合いが大きくちがう。」「学力調査は一部を抜き出す『抽出調査』ではなく、全員を対象に行う『悉皆(しっかい)調査』にすべきだ」と話され、最後に「地域の力が家庭を支え、学校を作る」と、講演を締めくくられました。

100名を超える参加者からは「教育現場の実情がよくわかってよかった」「すごく参考になり、とても短い90分だった」との感想が寄せられました。

美の国カレッジ あきた学専門講座がスタート!

5月28日(土) 美の国カレッジあきた学専門講座のうち「あきた城下物語」と「ふるさとの山そして川」がスタートしました。

「あきた城下物語」は県内各藩の城下町の構造や位置づけなどについて掘り下げる講座で、第1・2回の講座では講師の渡辺英夫氏が絵図を使って久保田城下と横手城下の町づくりについて詳しく説明されました。

「ふるさとの山そして川」では、豊かな秋田の自然について山や川、動物たちにスポットを当て、山の美しさや鳥類について様々な視点での講座となりました。



絵図を使っの講座

美の国れんけいカレッジ「実践！寄せ植えゼミ（春）」



講師の信田学芸主事（中央右）

秋田県立農業科学館との連携による美の国れんけいカレッジ「実践！寄せ植えゼミ（春）」が5月27日（金）に県生涯学習センターで開催されました。

はじめに講師である農業科学館の信田厚史学芸主事から、今回寄せ植えに使われる花の種類や実際に植える際の土づくりについて丁寧な説明がありました。

「市販されている粒状の土の中には酸性の強いものがまぜられていること、酸性の強い土の中では花は育ちにくい」との話に、参加者は熱心にメモをとっていました。

「セイヨウマツムシソウ」ともいわれるスカビオサや、新しく交配された「ショッキングウエーブ」という名前のペチュニアなど、6種類の花が使われました。

寄せ植えを長持ちさせる秘訣として「西日の当たらない場所に置く」「地面に直に置かず、プランター下の風通しを良くする」「目をかけても手をかけない」の3点が大事だということです。

「実践！寄せ植えゼミ」は9月にも開催予定です。



完成した寄せ植え

美の国れんけいカレッジ「元気Up！健康ゼミ」

秋田県スポーツ科学センターとの連携による美の国れんけいカレッジ「元気Up！健康ゼミ」が6月7日（火）から4回にわたって開催されています。

県スポーツ科学センターの工藤強志スポーツ主事を講師に、1回目はストレッチを中心とした講座が開かれました。「自分が気持ちいいと感じるストレッチを継続させると、自然に身体が柔らかくなってくる」とのことです。優しい音楽をBGMに参加者はゆったりとした気持ちでストレッチに励んでいました。

2回目は県スポーツ科学センターを会場に、「レッツトライ！“体力診断”」に挑戦しました。反射神経を測定する検査や骨密度など7種類の測定を行い、運動能力による実年齢との比較がなされました。

工藤スポーツ主事は、「骨密度は低くても高くてもだめ。低すぎると骨粗しょう症に、高すぎると座骨神経痛になりやすい。」「片足を上げる運動を左右1分ずつ、1日3回行くと54分のウォーキングと同じ筋肉使用量になる。」との話に、参加者は真剣にメモをとっていました。

3回目はペットボトルを使った筋力トレーニングが、4回目は道具を使った楽しいトレーニングが予定されています。



ストレッチで身体をほぐします



コンピュータによる骨密度の測定